

令和8年度 北海道開発事業費

(旭川開発建設部実施分)の概要について

令和8年度 北海道開発事業費（旭川開発建設部実施分）について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部
全 体 広 報 官 石 川 貴 史 (0166-32-3097)
治水関係 治 水 課 長 結 城 憲 明 (0166-32-4234)
道路関係 道 路 計 画 課 長 林 圭 介 (0166-32-4285)
農業関係 農 業 整 備 課 長 永 田 晋 一 郎 (0166-32-0953)

旭川開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

旭川開発建設部公式 X (旧 Twitter) アカウント @mlit_hkd_as



令和8年度 旭川開発建設部事業費総括表

(事業費)

(単位：百万円)

事 項	予 算 額	備 考
治 水	9,219	
道 路	20,570	
都市水環境整備	169	
農業農村整備	17,835	
合 計	47,793	

- 注) 1. 農業農村整備を除き、工事諸費は含まれていない。
 2. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和8年度

北海道開発事業費の概要
(旭川開発建設部実施分)

令和8年4月
旭川開発建設部

< 目 次 >

令和8年度 旭川開発建設部関係事業の概要

I 治水事業・都市水環境整備事業	1
II 道路事業	4
III 農業農村整備事業	12

I 治水事業・都市水環境整備事業の概要

令和8年度は、第9期北海道総合開発計画に掲げられた「我が国の豊かな暮らしを支える北海道」、「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造」の目標を達成すべく、「生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり」、「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」、「自然共生社会・循環型社会の形成」、「多様で豊かな地域社会の形成」に資するための対策を引き続き実施します。また、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化に対応するため、あらゆる関係者が協働して流域全体で水災害対策に取り組む「流域治水」の考え方に基づく、ハード・ソフト一体の水災害対策を推進するほか、令和7年6月に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき、国土強靱化の取組を着実に推進します。さらに、川からはじまる地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」を推進します。

1 河川の整備

石狩川上流においては、旭川市街部の被害軽減を目的とした河道掘削、河床低下対策、護岸等、天塩川上流においては、音威子府地区、美深地区、名寄地区の被害軽減を目的とした河道掘削、堤防整備、樋門改築等を実施します。また、河川・多目的ダムの維持管理や河川管理施設の老朽化対策を実施し、「災害に強い地域づくり」を推進するとともに、社会全体で激甚化・頻発化する災害リスクに備える「水防災意識社会」を再構築するため、「大規模水害に対する地域防災力向上」、「確実な避難情報の伝達及び適切な避難誘導」、「都市機能や社会経済活動の早期復旧」に資するソフト対策の実施に向けた各種支援・取組を推進します。

これらの整備に当たっては、地域と連携を図り、親水性・景観・生態系等に配慮しながら「川づくり」を進めます。

(1) 河川改修

河道掘削、堤防整備、樋門改築、河床低下対策、護岸等を実施します。

(2) 河川維持

河川の機能維持を図る維持管理、河川管理施設の老朽化対策を実施します。



辺別川 護岸整備状況(旭川市)

(3) ダム管理

岩尾内ダム（昭和46年完成）、大雪ダム（昭和50年完成）、忠別ダム（平成19年完成）及びサンルダム（平成31年完成）において、治水・利水機能を確保するためのダム管理に必要な施設の点検整備、観測・操作、流木処理などを行い管理の充実を図り、安全で安心な人々の暮らしを支えます。



忠別ダム（東川町）

2 砂防施設の整備

美瑛川上流では、昭和63年の十勝岳の噴火を契機に十勝岳火山噴火泥流対策を実施しており、砂防堰堤工や床固工等のハード対策、監視体制の強化や訓練などのソフト対策とともに全国初の「流域流木対策」をあわせ、総合的な火山砂防事業を重点的に推進していきます。また、石狩川上流では、山腹、溪岸に崩壊地が見られる支川へ砂防堰堤工等の整備を推進します。



白川第1号砂防堰堤 整備状況
（上川町）

3 総合流域防災対策

地域への災害情報周知や避難支援等に関する危機管理対応の充実を図ります。

4 都市水環境整備

(1) かわまちづくり

石狩川水系忠別川・牛朱別川において、JR旭川駅南側地区を拠点として、水辺整備・利活用により、全道サイクルルートの展開や自然環境に恵まれたラフティング等のアクティビティの推進、地域特有の観光・教育資源との有機的な連携を図り、河川空間とまち空間が融合した良好な空間づくりを推進します。



旭川駅周辺かわまちづくり
（旭川市）

天塩川水系名寄川において、河川空間をサイクリングなどに活用し地域の活性化を図る「かわまちづくり」計画と連携し、まちづくりと一体となった水辺整備を推進します。

(2) 自然再生事業

天塩川流域において、魚類等の生息環境の保全・改善及び魚類の連続性の確保を図るため、関係機関や地域と連携し、魚類が持続的に再生可能な河川環境の保全を推進します。

治 水 事 業

事業別	地区別等	事業の概要
1 河川の整備		
(1)河川改修	石狩川上流	河道掘削、河床低下対策、護岸 等
	天塩川上流	河道掘削、堤防整備、樋門改築 等
(2)河川維持	石狩川上流	堤防管理、高水敷伐開、水閘門等維持管理、河川巡視 等
	天塩川上流	堤防管理、高水敷伐開、水閘門等維持管理、河川巡視 等
(3)ダム管理	岩尾内ダム	ダム管理施設の維持管理・修繕 等
	大雪ダム	ダム管理施設の維持管理・修繕 等
	忠別ダム	ダム管理施設の維持管理・修繕 等
	サンルダム	ダム管理施設の維持管理・修繕 等
2 砂防施設の整備		
砂防施設の整備	石狩川上流	砂防堰堤工 等
3 総合流域防災対策		
危機管理対応	十勝岳ほか	災害情報周知や避難支援に関する危機管理対応 等

都市水環境整備事業

事業別	地区別等	事業の概要
4 総合水系環境整備		
(1)旭川駅周辺 かわまちづくり	石狩川上流	親水広場、取付道路工、側帯工 等
(2)名寄川地区 かわまちづくり	天塩川上流	管理用通路 等
(3)天塩川中上流地区 自然再生事業	天塩川上流	魚類等の生息環境の保全・改善、 魚類の連続性確保

II 道路事業の概要

<基本方針>

北海道開発については、「第9期北海道総合開発計画」（令和6年3月12日閣議決定）において、多様な主体と「共に北海道の未来を創る」ことをコンセプトに、北海道の強みである「食」、「観光」、「再生可能エネルギー」のポテンシャルを踏まえ、豊かな北海道を実現し、我が国の経済安全保障に貢献することを目指し、北海道の価値を生み出す「生産空間」の維持・発展を図ることとしています。

道路における具体的な取組としては、「世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成」に向け、「道路共創ネットワーク」の取組を進め、これからの北海道を支える「サービスレベル達成型のネットワーク整備」を推進します。また、「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」に向け、地方創生・観光を加速する拠点整備として、「道の駅」第3ステージの取組やシーニックバイウェイ北海道、サイクルツーリズムを推進します。さらに「ゼロカーボン北海道の実現」に向け、道路照明のLED化等を推進します。

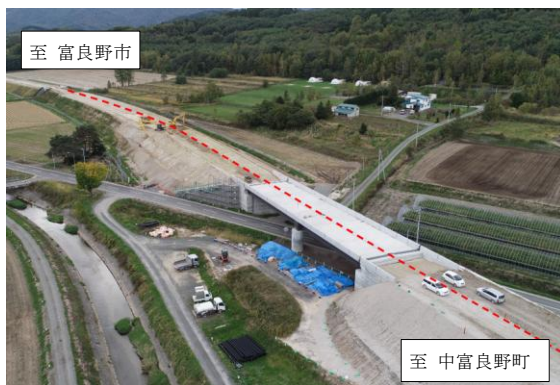
気候変動により激甚化・頻発化する水災害や巨大地震等の大規模災害、インフラの老朽化の現状等を踏まえ、「生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり」に向けて、道路施設の予防保全型メンテナンスへの転換のほか橋梁の耐震化、のり面の防災対策等の国土強靱化とあわせて、道路が被災した際にもダブルネットワークにより交通機能が確保されるよう強靱な道路ネットワークの整備を推進します。また、i-Snow等のインフラ分野のDX化による現場の生産性・効率性の向上を推進します。

<主要施策>

1 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

(1) 高規格道路ネットワークの整備

広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱性を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。



旭川十勝道路 富良野北道路



北海道縦貫自動車道 士別剣淵～名寄

(2) 北海道型地域構造の保持・形成に向けた物流効率化支援及び地域公共交通支援

北海道型地域構造の保持・形成を図るため、地方部の生産空間で生産される農水産品の消費地への輸送や、地方部への日用品等の輸送といった物流の効率化を支援します。また、生産空間の利便性向上のため、生産空間と市街地をつなぐ地域公共交通の維持を支援します。

2 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

<「シーニックバイウェイ北海道」の推進>

シーニックバイウェイ北海道は、地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。旭川開発建設部では、現在、「大雪・富良野ルート」と「天塩川シーニックバイウェイ」の2つの指定ルートと、候補ルートとして「層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ」があり、3ルートで、86団体が活動しています。

ルートの中でも特に魅力的な景観等を有する道路は「秀逸な道」として認定し、多様な主体の連携のもと、ハード・ソフトの景観の維持・形成に向けた取組等により観光資源としてさらに磨き上げ、その魅力を発信することによりドライブ観光客の誘客を促進していきます。



(秀逸な道) 日本一のそば畑を走る道
天塩川シーニックバイウェイ



(秀逸な道) 十勝岳と四季を彩る花々に出会う道
大雪・富良野ルート

<サイクルツーリズムの推進>

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向け、安全で快適な自転車走行環境の整備やサイクリストの受入環境の充実、情報発信の取組を推進します。旭川開発建設部では、「きた北海道ルート」、「石狩川流域圏ルート」、「富良野美瑛サイクリングルート」の3ルートがあり、関係機関と協働した取組を進めます。



安全で快適な自転車走行環境創出
(きた北海道ルート)

3 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の経成

(1) 災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの強靱化

旭川開発建設部における橋梁の約4割が架設後50年以上経過するなど、高度経済成長期から集中的に整備されてきたインフラの老朽化も急速に進展しています。

人口減少や高齢化が進む中、持続可能な道路の維持管理に向けて、予防保全型メンテナンスへの転換、デジタル技術の活用による作業効率化を図ります。

また、近年、気候変動に伴い、降雨の局地化や集中化、記録的な降雪が発生しており、今後さらに水害、土砂災害等が激甚化・頻発化することが懸念されています。

広域分散型の地域構造で道路ネットワークの密度が低い北海道では、通行止めにより迂回や孤立が発生した場合の社会的影響が大きく、基幹的な道路ネットワークの強靱化や、ダブルネットワーク構築による代替性確保が重要です。

第1次国土強靱化実施中期計画（令和7年6月閣議決定）を踏まえ、地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路の整備や緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。

耐災害性強化や老朽化対策等の抜本的な対策を含めて、防災・減災、国土強靱化の取組の更なる加速化・深化を図ります。

災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能を確保するため、高規格道路のミッシングリンクの解消及び高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を実施します。



橋梁の老朽化対策（国道40号 比布町）

（2）防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術等を積極的に導入しつつ、事業のスピードアップを図ります。



電線共同溝の整備（国道38号 富良野市）

（3）冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。また、大雪・暴風雪時の取組として、道路管理者間で連携した高速道路通行止め時の並行路線対策やラジオ放送・SNSを活用した情報発信、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊：リエゾン*を含む）の派遣による自治体支援などを、円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

※リエゾン：重大な災害の発生又は発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員。



防雪対策（国道275号 幌加内町）



TEC-FORCE の派遣による自治体支援
（令和2年7月 熊本県）

(4) 安全・安心な移動環境の確保

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的な危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」*を推進します。

また、生活道路における速度抑制や通過交通の進入抑制を図る面的対策の検討において、E T C 2. 0 プローブデータを活用した分析により自治体を支援し、安全・安心な道路空間の整備を推進します。

※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組。



可搬式ハンブ設置状況(富良野市)

(5) 「道の駅」の防災拠点化

近年、激甚化・頻発化する自然災害に備え、各地で広域的な復旧・復興活動の拠点整備が進められており、地域防災計画に位置付けられた「道の駅」において、地域の防災力向上に資する防災拠点の整備や機能向上を図っています。

「防災道の駅」をはじめ、地域防災計画に位置付けられた「道の駅」においては、更なる防災機能強化に向けて、BCPに基づく防災訓練等について重点的に支援していきます。



道の駅「森と湖の里ほろかない」

4 地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現

<再生可能エネルギーの導入拡大、脱炭素化等の取組>

北海道の豊かな自然や地域資源を活かして、グリーン社会の実現を主導していくことが求められています。ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組を推進し、持続可能な脱炭素社会の形成を図ります。

<道路照明灯のLED化>

道路の日常管理における電力使用量のうち、道路照明が約7割を占めています。このため、従来の照明よりも消費電力を削減できるLEDへの転換を促進し、CO₂排出量を削減します。



道路照明灯のLED化(国道12号 旭川市 旭川トンネル)

<自転車活用の推進>

自転車通行空間の整備やシェアサイクルの普及促進等、自転車活用の推進を図ることにより、交通における自動車への依存を低減し、CO₂排出量を削減します。

そのため、観光周遊の利便性向上や災害時の移動手段確保、日常利用による健康増進など、自転車の多様な利用促進を支援するとともに、市町村の自転車活用推進計画策定に向けた支援や交通安全教育など関係機関と取り組みます。

また、サイクリストの方が一のトラブルに対し、修理工具等を無料で貸出を行う道路パトロールカー、「サイクリスト・応援カー」の取組を拡充するとともに、国道沿線の市町村や関係団体への参加促進や民間団体が行うイベント等の活動に対する支援を行います。



自転車の通行位置を示す矢羽根型路面標示の設置
(国道 237 号 旭川市)



サイクリスト・応援カー

主な道路事業箇所

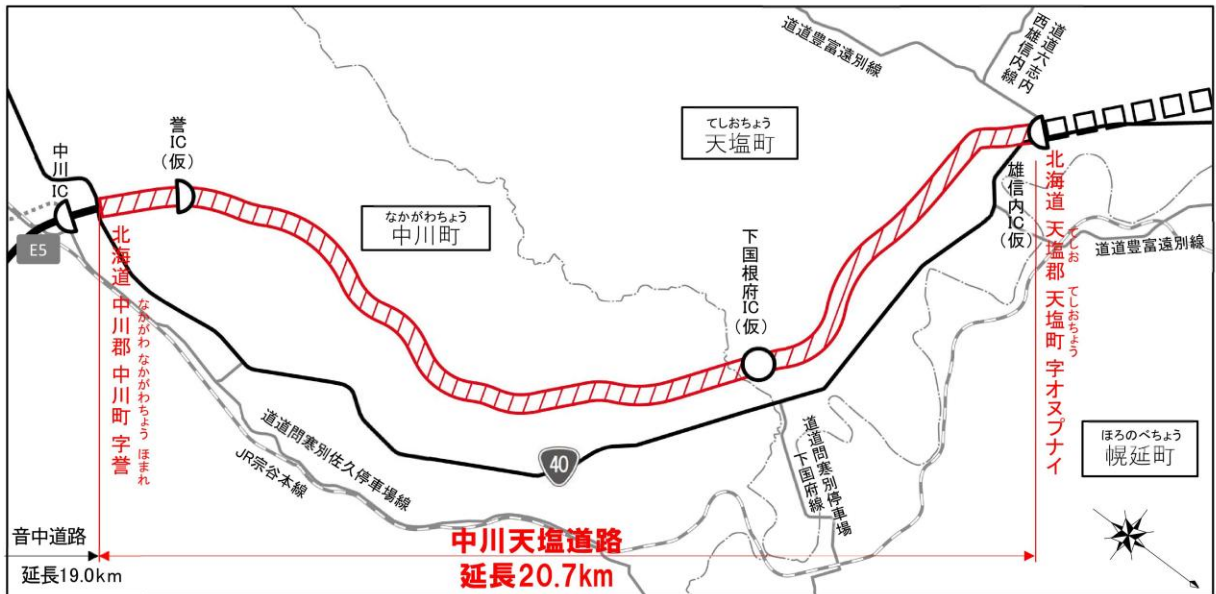
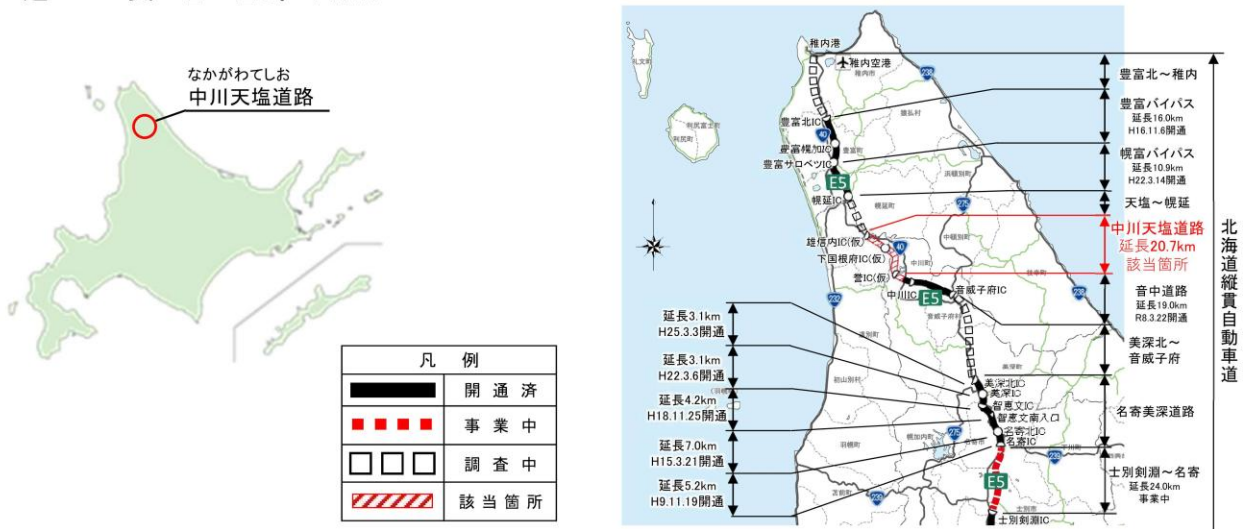
路 線 名	事 業 名
E5 北海道縦貫自動車道	士別剣淵～名寄
E5 国道40号	音威子府バイパス（令和8年3月22日開通） 中川天塩道路（令和8年度新規事業化）
E39 旭川・紋別自動車道	橋梁流失対策、橋梁修繕、舗装修繕等
旭川十勝道路	富良野北道路、舗装修繕等
国道12号	舗装修繕等
国道38号	太平路肩改良、富良野電線共同溝、橋梁修繕、舗装修繕等
国道39号	比布大橋架替、橋梁修繕、舗装修繕等
国道40号	道路流失対策、防災対策、橋梁修繕、舗装修繕等
国道237号	湯の沢橋架替、橋梁修繕、舗装修繕等 神楽交差点改良（令和8年度新規事業化） 西神楽交差点改良（令和8年度新規事業化） 大曲中央帯整備（令和8年度新規事業化） 学田路肩改良（令和8年度新規事業化）
国道239号	橋梁修繕、舗装修繕等
国道273号	防雪対策、防災対策、橋梁修繕、舗装修繕等
国道275号	下幌加内路肩改良、舗装修繕等
国道452号	五稜道路、舗装修繕等

1. 概要

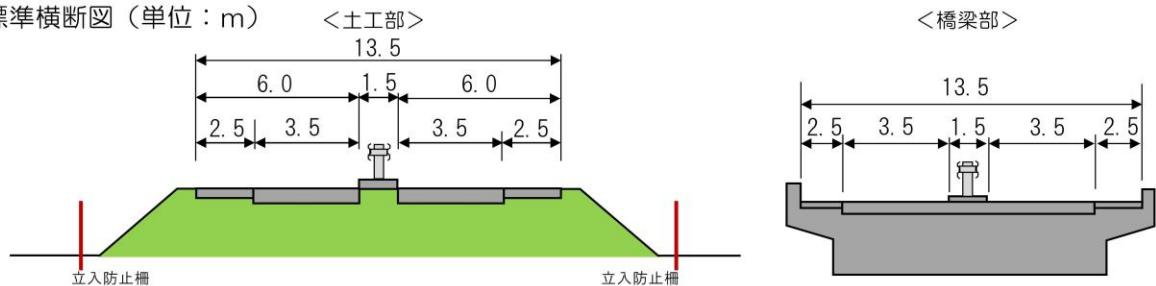
なかがわてしお
 一般国道40号中川天塩道路は、洪水浸水や暴風雪などの災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成し、物流拠点、空港、港湾、高次救急医療施設等へのアクセス向上により、道北地域における産業振興や救急搬送などの医療活動を支援すること等を目的とした延長20.7kmの一般国道のバイパス事業です。

2. 計画内容

箇所名：なかがわ なかがわちやう ほまれ てしお てしおちやう 北海道中川郡中川町字誉～天塩郡天塩町字オヌプナイ
 延長：L=20.7km



■標準横断面図（単位：m）



令和8年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

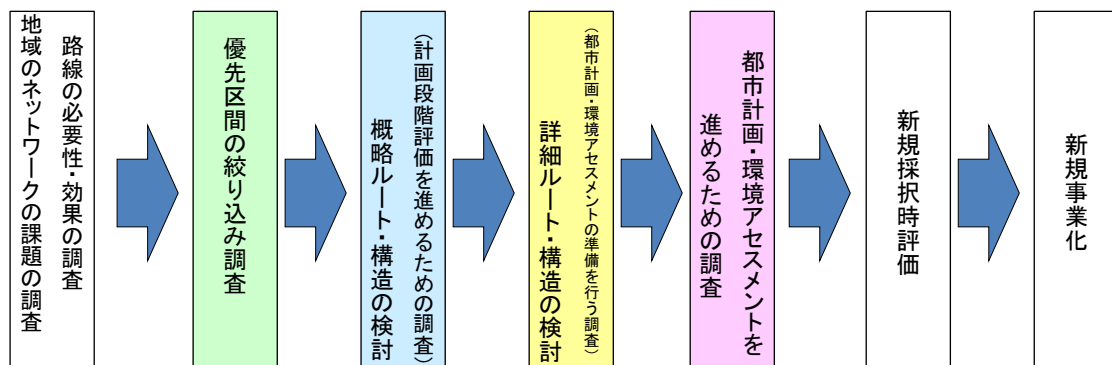
概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

旭川十勝道路 かみふらの なかふらの 上富良野～中富良野

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



Ⅲ 農業農村整備事業の概要

上川地方は、水稻や野菜類を主体に多様な作物が栽培される北海道の主要な農業生産地域であり、食料の安定供給を担うとともに、持続的な農業生産は地域の農村景観の保全に寄与しています。

令和8年度の農業農村整備については、第9期北海道総合開発計画の目標として掲げている「我が国の豊かな暮らしを支える北海道」、「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造」の実現にあたり、食料安全保障を支える上川地域の農林水産業・食関連産業の持続的な発展に向け、農業の成長産業化や国土強靱化に即した施策の推進を図ります。

北海道が日本の食料供給基地としての更なる貢献を果たせるよう、農業生産基盤整備による担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化、農業水利施設の安定的な機能発揮による農業生産力の確保など上川地域の特色を生かした生産基盤の整備を推進します。

なお、令和8年度からは国営農地再編整備事業「富良野南富地区」、国営かんがい排水事業「美瑛川下流地区」が新規事業着手し、更なる地域農業の持続的な発展に貢献してまいります。

1 農業の成長産業化に向けた農業生産基盤整備

スマート農業技術の導入、担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るため、土地利用の整序化や農地の大区画化等の基盤整備を推進します。また、水利用の高度化や水管理の高度化を図るため、パイプライン化やICTの導入等による新たな農業水利システムの構築等を推進します。

(1) 国営緊急農地再編整備事業

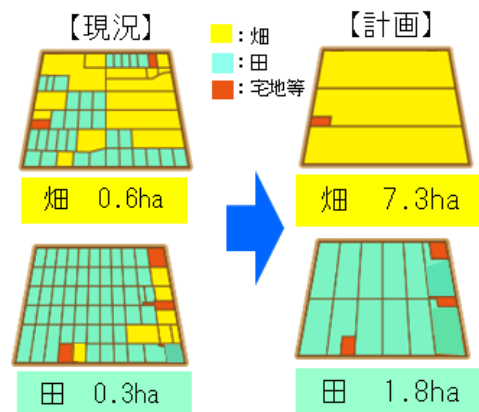
「愛別地区」、「大雪東川第一地区」
「旭東東神楽地区」、「旭東地区」
「大雪東川第二地区」の事業推進



農地の大区画化（旭東東神楽地区）

(2) 国営農地再編整備事業

「富良野南富地区」の新規事業着手
大型機械やスマート農業導入の推進
に向け、土地利用の整序化や農地の
大区画化等の生産基盤を整備



大区画化・土地利用の整序化
(イメージ)

2 農業水利施設の戦略的な保全管理、防災・減災対策

農業水利施設の安定的な機能発揮による農業生産力の確保のため、農業水利施設の更新・長寿命化、農地の湛水被害の解消、耐震対策等の災害に強い基盤整備を推進します。

(1) 国営かんがい排水事業

「共栄近文二期地区」の事業推進



近文頭首工の改修、耐震対策

「美瑛川下流地区」の新規事業着手
経年劣化した用水路の改修及び、ダム附帯施設の改修、耐震化と
水需要の変化に対応した用水再編



経年劣化により破損した用水路



神居ダム

(2) 直轄明渠排水事業

「風連多寄地区」の事業推進



排水路の改修

(3) 国営施設応急対策事業

「鳥沼宇文地区」の事業推進



用水路の更新

3 国営土地改良調査計画

国営かんがい排水事業、国営農地再編整備事業の事業実施の必要性、技術的可能性、経済的妥当性等について検討を行い、事業計画書（案）を作成するために必要な調査を実施します。

(1) 国営かんがい排水事業

「天塩川地区」の継続調査

「富良野東丘地区」の継続調査

(2) 国営農地再編整備事業

「富良野西地区」の継続調査

農業農村整備事業

1 実施地区

事業種別	地区名	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営かんがい排水事業	共栄近文二期地区 【継続】	旭川市 鷹栖町	5,582ha	【頭首工】 1カ所 (改修) 【用水路】 7条 L=21.2km (改修)
	美瑛川下流地 【新規】	旭川市	771ha	【ダム】 1カ所 (改修) 【用水路】 3条 L=7.0km (改修)
直轄明渠排水事業	風連多寄地区 【継続】	名寄市 士別市	650ha	【排水路】 1条 L=5.2km (改修)
国営施設応急対策事業	鳥沼宇文地区 【継続】	富良野市 中富良野町	1,464ha	【用水路】 1条 L=3.5km (改修)
国営緊急農地再編整備事業	愛別地区 【継続】	愛別町	1,253ha	【区画整理】 1,253ha
	大雪東川第一地区 【継続】	東川町	1,157ha	【区画整理】 1,157ha
	旭東東神楽地区 【継続】	東神楽町	1,535ha	【区画整理】 1,535ha
	大雪東川第二地区 【継続】	東川町	1,639ha	【区画整理】 1,639ha
	旭東地区 【継続】	旭川市 東神楽町	1,963ha	【区画整理】 1,963ha
国営農地再編整備事業	富良野南富地区 【新規】	富良野市 南富良野町	1,916ha	【区画整理】 1,916ha

2 調査計画地区

調査区分	地区名	関係市町村名
国営かんがい排水事業	天塩川地区 【継続】	士別市、名寄市、剣淵町
	富良野東丘地区 【継続】	富良野市、中富良野町
国営農地再編整備事業	富良野西地区 【継続】	富良野市